



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input checked="" type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生
<input type="checkbox"/>	県協会

<input checked="" type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会
<input type="checkbox"/>	地区大会

<input checked="" type="checkbox"/>	男子
<input type="checkbox"/>	女子

試合番号	玉名-男11
------	--------

年月日	2019年8月4日(日)
大会名	令和元年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会

公式記録用紙

A	県立今治西高等学校						國學院大學栃木高等学校						B	
都道府県	熊本県		市町村	玉名市		会場	玉名市総合体育館						回戦	1回戦
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7mポ-ンツ	A	B
	10	5	20	16										
7m得点/総数	A		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B		7m得点/総数			
	1/1	1	2 後半	3		1	2 後半	3	0/0					
			1133			1815	1931	2454						

No.	県立今治西高等学校	G	W	2'	2'	D	DR	No.	國學院大學栃木高等学校	G	W	2'	2'	D	DR
1	福本 廉							1 C	高山 悠斗						
2	越智 祐介	1		1				2	立川 竜也	1	1				
3	榑野 敬太							3	前原 知貴	3					
4	野口 航希							4	石田 光宏	1					
5	福島 大翔	2						5	北原 尚弥						
6	八塚 陽才	2						6	泉川 景吾						
7	相原 惇志	4						7	平井 運哉	7					
8 C	片上 琢朗	8						8	齋藤 諒恒						
9	宇高 充希							9	塩月 颯斗						
10	高田 洸希	1	1					10	鈴木 清大						
11	西坂 一吹							11	高橋 祐人	1					
12	小泉 直樹							12	中山 達矢						
13	河野 大嘉							13	前島 拓弥	3					
14	松田 航汰	2		1				14	信田 泰正						
役員A	近藤 啓司							役員A	高山 洋太						
役員B	清水 花野							役員B	中山 富夫						
役員C	白石 雄輝							役員C	仲江川 翠冬						
役員D								役員D							

A	近藤 啓司	チーム役員A署名	高山 洋太	B
---	-------	----------	-------	---

レフェリー	鶴野 裕基	高橋 知晃	鶴野 裕基	高橋 知晃
TD	藤本 幹生	武智 誠治	藤本 幹生	武智 誠治
MO				

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入



令和元年度全国高等学校総合体育大会  
高松宮記念杯第70回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

戦評

開催日	2019年 8月 4日 日曜
会場	玉名市総合体育館
種別	男子
回戦	1回戦

スコア	チーム名	総得点	前半	総得点	チーム名
	20	県立今治西 高等学校	20	10-5	16
後半					
	第1延長		第2延長		7MC
	—		—		—
	—		—		—

※第1延長・第2延長及び7MCの得点は総得点に加算してください。

戦評	前半	14年ぶり出場の今治西は、インターハイ初勝利を目指してこの一戦にかける。対する國學院栃木も2年後の地元国体に弾みをつけたいと意気込んで始まった一戦は、互いにやや硬さがみられる序盤となった。今治西は相原と片山が果敢にシュートを放つが、中央を守る國學院栃木の立川と前原がしっかりブロックにいき、高いディフェンスをなかなか突破できない。15分を過ぎ、4対3と今治西が1点リードのロースコアの展開から、片山がディフェンスが守っているコースを巧みに打ち、3本連続でロングシュートを沈める。そして前に詰めてきたディフェンスの裏をうまく利用して、ポストシュートを2本決めた今治西が、終盤有利に試合を進める。國學院栃木は、攻撃が淡白になり得点を積み上げることができず、今治西が5点リードで前半を折り返す。
	後半	後半に入り、國學院栃木は攻撃に粘りがでてきた。立川のポストシュート、平井の速攻からの中央突破、フリースローからのコンビプレーなどで点差を詰めていった。今治西に退場者が出て、國學院栃木はこの間に2点差まで詰め寄る。今治西はたまたらずタイムアウトを取る。残りはまだ19分。勝負の行方は全く分からなくなった。ただ、セットオフェンスではなかなか攻め手を欠き、速攻だけに頼らざるを得ない國學院栃木に対して、それまでロングシュートだけに頼っていた感のある今治西が、ポストの松田を有効に生かす攻撃や、相手のミスに乗じて速攻からも得点を重ねていき、徐々にゲームの流れを引き寄せていった。5点差をつけた今治西は、終盤残り時間をじっくり使って逃げ切り、見事に「夏の1勝」を握んだ。両チームのゴールキーパーの攻守が随所にみられた試合であった。

記入者	松本 政之
-----	-------

ハンドボール No.88